

まちなか広場から生まれる“まちなかの新たな価値”が第5回のテーマ

全国まちなか広場研究会 in 大阪

【主催】全国まちなか広場研究会 【共催】御堂筋完成80周年記念事業推進委員会



2017
9/8

【プログラム】

1. 第3回まちなか広場賞授賞式+事例発表
2. 第5回全国まちなか広場研究会 in 大阪開会式
3. 事例発表
 - 御堂筋の空間再編について
 - “大阪城パークセンター”と“天王寺公園エントランス「てんしば」”について
 - グランフロント大阪「うめきた広場」
 - なんばひろば改造計画について
 - 梅田駅周辺歩道拡幅計画
 - もりのみやキューズモールBASE 豊かに生きる、ココロ・カラダ特区
4. グループディスカッション
5. OSAKA 旅めがね活動紹介

【場所】 大阪市中央公会堂

全国まちなか広場研究会は、「まちなか広場」の価値に関する研究を行い、広場の整備と管理運営の望ましいあり方が普遍化されることに寄与することを目的とし、「公共広場」×「公共交通」の連携による価値の創造が都市における基幹事業と位置付けられることを目指して活動を行っている団体です。

大阪エリアにおける「まちなか広場」等を活用した取組みや活動についての事例発表・現地視察のほか、全国各地における先進的な取組事例に対する表彰、参加者全員によるグループディスカッションが行われました。



開会式
(永井 大阪市建設局長)



大阪の都市構造の説明
(嘉名 大阪市立大学教授)



閉会式
(鳴海 大阪大学名誉教授)



閉会式(吉村 大阪市長)

今年完成80周年を迎えました御堂筋については、「車中心から人中心へ！通る空間から集まる空間に！」をキーワードに、歩いて楽しむ、賑わいを感じ、まちと人がつながっていくみんなの広場となるように、御堂筋を変えていきたいと考えております。

すでに、モデル事業として一部の区間で整備を行っておりますが、今後、さらに、整備区間を拡大するため、市民の方との対話や社会実験などをおして官民連携で取組みを進めてまいります。

